

第215回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和5年3月14日(火) 13:58~16:45
場所	<Web会議により実施(Microsoft Teamsを使用)> 本部棟3階 特別会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 肥後理事, 大谷理事, 椎名理事, 藤波理事, 金山副学長, 松崎副学長, 増永副学長, 丸橋法文学部長, 河添教育学部長, 磯村人間科学部長, 鬼形医学部長, 伊藤総合理工学部長, 川向生物資源科学部長, 片岡評議員, 加藤評議員, 高橋評議員, 石原評議員, 山田評議員, 松本評議員, 河野評議員, 境評議員, 津本評議員, 半田評議員
オブザーバー	千家監事 〔陪席: 企画部長, 研究・地方創生部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 松江地区学部等事務部長, 医学部事務部長, 教育企画課長, 入試課長, 学生支援課長, 総務課長, 監査室長〕

議決事項1 学生の懲戒について

- 肥後理事から学生の懲戒について概要を説明した後, 当該学生の所属する学部長から詳細について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議決事項2 管理学則の一部改正について

- 藤田理事から管理学則の一部改正について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議決事項3 令和5年度改組等に伴う関係規則及び規程の一括改正について

- 藤田理事から令和5年度改組等に伴う関係規則及び規程の一括改正について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議決事項4 全学委員会のメンバー構成見直しに伴う関係規則及び規程の一括改正について

- 藤田理事から全学委員会のメンバー構成見直しに伴う関係規則及び規程の一括改正について説明があった。
- 服部学長から図書館運営会議のメンバー構成において, 人間科学部と材料エネルギー学部以外の学部が各2名となっている理由について質問があり, 半田評議員から同じ学部内においても学問領域に違いがあり, 1名で意見を集約するよりも2名で行った方が効率がよいためであるとの回答があった。服部学長から教員の研究時間確保等の観点から, 委員会に係る負担を削減するよう意見集約の方法も含め, 再度検討するよう依頼があった。
- 伊藤総合理工学部長から, 効率的な意思決定ができるよう判断のプロセス自体を見直す必要があるとの発言があった。
- 丸橋法文学部長から学部での意見の集約を効率化し, 委員の数を削減することは可能ではないかとの発言があった。
- 片岡評議員から図書館の運営は教員の研究や教育にも大きく関わることであり, より意見を反映させるため, 原案のとおり学部で2名の委員を選出することでよいのではないかとの発言があった。
- 金山副学長から, 各学部で選出された委員として最終的な判断が任されているという意識を持ってもらい, 委員数を1名とすることも可能ではないかとの発言があった。
- 増永副学長から改善には意識の改革が必要であり, 委員会の人数を削減することを前提として, 学部で対応を検討してもらうことでよいのではないかとの発言があった。

- 磯村人間科学部長から人間科学部は3つの学問領域があるが1名で業務を行うことは可能であるとの発言があった。
- 審議の結果、図書館運営会議のメンバー構成を早期に再検討することとして、それ以外の全学委員会のメンバー構成の見直し及び関係規則等の改正について原案通り議決された。
- 丸橋法文学部長から入学受入委員会において、今年度4月に2年の任期で研究科から選出している委員がいるが、規則改正により令和5年度からは研究科からの選出者が構成員に含まれないこととなっており、当該委員は今年度の3月をもって委員から外れるのかとの質問があり、肥後理事からご認識の通りであるとの回答があった。また、藤田理事から各全学委員会においてメンバー構成から外れた委員については同様の扱いであるとの説明があった。

議決事項5 名誉教授の称号授与について

- 服部学長から名誉教授の称号授与について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項6 外国人研究者規程の一部改正について

- 大谷理事から外国人研究者規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項7 令和5年度遠隔授業のガイドラインについて

- 肥後理事から令和5年度遠隔授業のガイドラインについて説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。
- 半田評議員から大学院において遠隔授業を行う際に申請が必要かとの質問があり、肥後理事より、研究科が開講する授業科目については修了要件単位に占める遠隔授業の上限がないため、申請・審査の手続きは不要であるとの回答があった。

議決事項8 令和6年度入試関係日程（案）について

- 肥後理事から令和6年度入試関係日程（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項9 教職課程に関する自己点検・評価について

- 肥後理事から教職課程に関する自己点検・評価について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。
- 服部学長から、各学部で行っている教職課程を全学での共通課程とすることについて、検討してほしいとの意見があり、肥後理事より附属教師教育研究センターを中心に検討したいとの回答があった。

議決事項10 教員免許状更新講習発展的解消後の後継講習「学校教員研修」の創設及び関係規程の一部改正について

- 肥後理事から教員免許状更新講習発展的解消後の後継講習「学校教員研修」の創設及び関係規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項11 国立大学法人島根大学と公益財団法人高輝度光科学研究センターとの包括的連携に関する協定の締結について

- 服部学長から国立大学法人島根大学と公益財団法人高輝度光科学研究センターとの包括的連携に関する協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項 1 2 国立大学法人島根大学と国立大学秋田大学との包括的連携に関する協定の締結について

- 服部学長から国立大学法人島根大学と国立大学秋田大学との包括的連携に関する協定の締結について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項 1 3 研究インテグリティの確保に関する規程の制定について

- 大谷理事から研究インテグリティの確保に関する規程の制定について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。
- 松本評議員から、既存の研究活動不正行為対策委員会等は研究インテグリティ・マネジメント委員会の下部委員会となるのか、また、両委員会で委員が重なることがあるのかとの質問があった。大谷理事から、研究インテグリティ・マネジメント委員会の下に研究活動不正行為対策委員会が研究インテグリティ・マネジメント専門委員会等と同等に位置することになる。委員構成は検討中であるが、研究インテグリティ・マネジメント委員会の委員に研究活動不正行為対策委員会等の委員を含むよう調整しているとの回答があった。

報告事項 1 令和5年度予算（案）について

- 藤波理事から令和5年度予算（案）について報告があった。

報告事項 2 第3期中期目標期間終了時評価（案）について

- 肥後理事から第3期中期目標期間終了時評価（案）について報告があった。

報告事項 3 令和5年度授業の実施方針について

- 肥後理事から令和5年度授業の実施方針について報告があった。

報告事項 4 卒業生追跡調査の結果（2021年度）について

- 肥後理事から卒業生追跡調査の結果（2021年度）について報告があった。

報告事項 5 地方大学・地域産業創生交付金「展開枠」の採択について

- 大谷理事から地方大学・地域産業創生交付金「展開枠」の採択について報告があった。

報告事項 6 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の申請について

- 服部学長から地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業の申請について報告があった。
- 片岡評議員から施設の整備においてはなるべく樹木を伐採することのないよう検討していただきたいとの意見があった。

報告事項 7 寄附研究部門「先端がん治療センター がん臨床研究部門」の設置（継続）について

- 肥後理事から寄附研究部門「先端がん治療センター がん臨床研究部門」の設置（継続）について報告があった。

報告事項 8 令和4年度実施教員業績評価の総括について

- 肥後理事から令和4年度実施教員業績評価の総括について報告があった。

報告事項 9 次期学部長・研究科長について

- 藤田理事から次期学部長・研究科長について報告があった。

報告事項 1 0 コンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）の実施状況（R5. 2. 28 現在）について

- 藤田理事コンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）の実施状況（R5. 2. 28 現在）について報告があった。

報告事項 1 1 国際交流協定の新規締結，更新及び終結について

報告事項 1 2 教員の採用等について

- 報告事項 1 1 及び 1 2 は書面をもって報告に代えた。

最後に 3 月末をもって退任する評議員から挨拶があった。